

# 事業再評価について



2005.12.22  
於 横芝町文化会館





## 再評価がうまれたわけ？

- 長引く景気低迷
- 公共事業予算の減少
- 公共事業への関心の高まり
- 情報の透明性の確保
- 国民の環境回帰指向

- ・ 環境への影響は？
- ・ 時代のニーズに合うか？
- ・ 他の方法はないの？
- などの疑問に答える

そのため、国土交通省の事業について  
**公共事業を評価する仕組み**

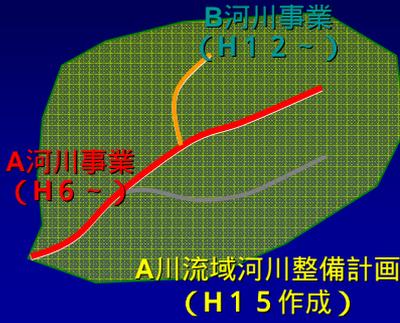
## 時間とともに変化する社会ニーズ

**10年経過**      **5年毎 5年毎**

**[対象]** 事業採択後 5年経過して未着工  
 事業採択後 10年経過して継続中  
 ……  
 再評価実施後 5年経過した事業

## 計画は今、でも、事業は昔から・・・

なぜ、河川整備計画をつくったばかりなのに再評価するの？



## 再評価で事業を確認する必要あり

事業は、**河川整備計画が決まる前から**行われてきたんだ。と、言うことは・・・

**事業着手後、一定期間経過した**事業は、やはり**見直すべき点があるのか**確認する必要がある。

## 再評価のルール（千葉県版）

### [誰が] すべての公共事業について

(千葉県県土整備部所管国庫補助事業再評価実施要領)

- 1) 河川事業・ダム事業であり、
- 2) 河川整備計画策定のための流域懇談会がある場合

地域と密接な関係  
計画策定段階から議論



評価監視委員会



流域懇談会

## 再評価のやり方

[流域懇談会  
の視点]

[評価監視委員会の視点]

事業の進捗状況  
社会経済情勢等  
コスト縮減・代替案の可能性  
事業の投資効果  
河川整備計画との整合  
地域への恩恵

[継続]

審議

[中止]

流域懇談会の結果に基づき河川管理者が判断

## 住宅市街地基盤整備事業 栗山川



平成16年10月台風22号洪水  
横芝堰下流左岸 光町宮川地先

## 事業概要

河川整備計画  
工事施工範囲

河川名	計画延長
栗山川	14,200m
多古橋川	2,400m
備当川	2,500m

# 事業概要

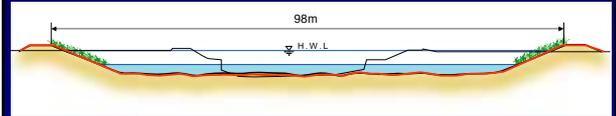
(主な実施内容)  
 計画延長 2,120 m  
 築堤 2,120m, 掘削310,000m<sup>3</sup>  
 堰1基, 橋梁3橋, 樋管11基

住宅市街地基盤  
 整備事業  
 L=2,120m  
 H3~H19(予定)



# 栗山川の改修計画図

標準断面図  
 栗山川



# 事業の進捗状況

施工前



施工中(現在完成)



平成17年2月撮影

河道整備	H17年度完成 : 横芝堰、新栗山橋(R126)、 JR鉄道橋、樋管4基 残事業: 橋梁1橋、樋管7基 進捗率 89%
用地取得	進捗率 97% 取得済面積 88,900m <sup>2</sup> 未取得面積 2,800m <sup>2</sup>



平成17年2月撮影

# 横芝堰完成写真



# 栗山川ふれあい橋



# JR総武本線橋梁



## 新栗山橋(R126)整備中



## 社会情勢等

### (1) 流域状況

- 市街化の発展、未改修区間(3.0k~8.0k)の影響で、沿川に浸水被害が多発し、治水安全度が低下している。
- 圏央道の整備に伴う流域開発によって流出増が懸念され、河川整備による早期の治水安全度向上が望まれている。

### (2) 主な水害状況

- 平成11年10月(集中豪雨)  
浸水家屋: 172戸、浸水面積: 1,950ha
- 平成16年10月(台風22号)  
浸水家屋: 26戸、浸水面積: 1,955ha

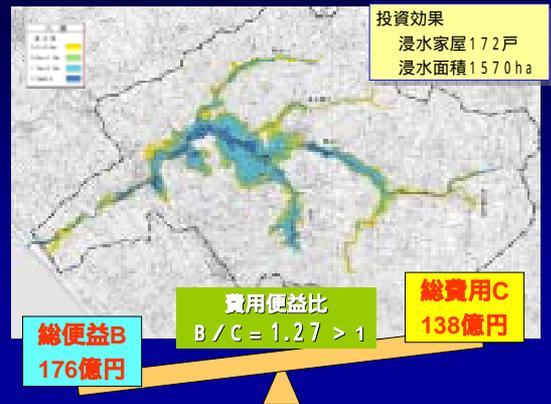
### (3) 投資効果

- 近年の主要な洪水(平成11年10月洪水相当)の再来に対し家屋及び幹線道路の浸水被害を軽減する。
- 浸水家屋ならび浸水面積1,570haの解消が期待される。

## コスト縮減

- ◆掘削による発生土の再利用
- ◆発生材(矢板、ブロック等)の再利用
- ◆堰の計画、工事方法等の見直し等による  
事業費削減  
11%(2.2億円)のコスト縮減を実現

## 事業の投資効果



## 対応方針(案)

- ◆栗山川の改修により、流域の開発と整合を図った治水安全度の向上を図ることができる。
- ◆洪水に強く潤いのある水辺環境の創造が期待される。
- ◆また、発生材の有効活用等によるコスト縮減へも取り組み、費用対効果も高い。



<方針>

事業を継続とし、更なる治水安全度向上を図る。



栗山川下流部 親水デッキ